



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田赤十字乳児院

広報誌 第44号

理念

私たちは、赤十字精神のもとに、子どもたちの権利擁護と最善の利益を守り、心身ともに健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった養育環境を提供します。

よちよち ちゃん





手作りおもちゃコーナー

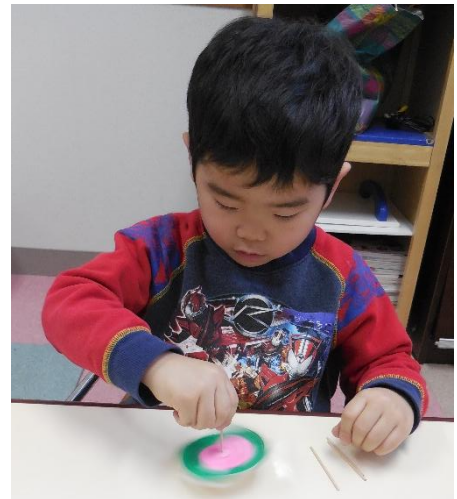
冬は雪遊びが楽しい季節ですが、室内遊びも多く何をして遊ぼう・・・と悩むことが多いと思います。

そんな時は、身近な素材で簡単に作れるおもちゃで遊んでマンネリ脱出！今回は、牛乳パックと紙コップ遊びを紹介します♪



牛乳パックを長くつなぎ合わせたおもちゃで子ども達が囲いをつくり、お風呂遊びや秘密基地にして遊んでいます。いろいろな遊び方ができるので、楽しさ倍増！

牛乳パックの底を切り取り、つまようじを刺すとコマの出来上がり！好きなイラストを描いてお気に入りのコマを作ろう。



紙コップと傘袋、ストローでびっくり風船！！

A君は長い傘袋がキリンに見えたようで、キリンおばけに変身！



紙コップと丸めた新聞紙を毛糸にくっつけ、けん玉の出来上がり！むむっ！なかなかむずかしいぞ・・・



ひよこ組

秋田のさむーい冬でも元気なひよこ組の子ども達。
お正月には見たことないおせち料理に興味津々。あまーいきんとんに、ニコニコ笑顔でした。
初めて雪をさわり、その冷たさにびっくり！まだまだながーい秋田の冬。いっぱい雪遊びするぞ！（鈴木）



寒さになんて負けないもん！

ぱんだ組

1月にぱんだ組の2人が2歳の誕生日を迎えました。誕生日会ではタキシードやドレスを着て、おめかしした2人。いつもと違う様子にドキドキしていましたが、みんなに「Happyバースデー」を歌ってもらい、ニコニコ笑顔になりました。（佐々木）



喜びと緊張の間で・・・



ぼんび組

みんなで鬼のお面やパンツを作りました。早速お面を被って「おにだぞ〜！」と、なりきる子どもたち。節分に備えて、苦手なグリーンピース（豆...!）も頑張っって食べています。鬼に負けない強い子になるぞ！（木元）



赤ちゃん捕まえて「おにだぞ〜！」

ことい組

やっと積もった雪に子どもたちは大はしゃぎ。毎日ソリ滑りや、雪山をスコップで掘っては「工事してます！」と寒さに負けないいい笑顔です。今年も元気いっぱい、笑顔いっぱいの一年になりますように！（大石）



お正月といえば福笑い！



～冬の感染症と予防法～



看護師長
石川 明子

冬場に多い病気の代表選手！インフルエンザと流行性胃腸炎。

皆さん、「インフルエンザ」と「風邪」は全く違う病気だって知っていますか？

「インフルエンザ」は急に高い熱が出て頭痛や関節痛、咳など全身の症状が見られます。気管支炎や肺炎を起こす事もありますし、まれに脳炎や脳症を発症する事もある、怖い病気です。流行期に熱が上がったら病院へ行って検査を受けましょう。発熱後すぐだと反応が出ないこともあるようですが、できるなら数時間経った頃に受診してください。

そして、胃腸炎といえばノロウィルスがよく知られていますが、他にもロタウィルスやアデノウィルスが原因の時もあります。

急な嘔吐から始まる事が多く、脱水状態になるのが最も心配ですので、水分を少しずつ摂るようにしましょう。罹ったら病院へ行き、お薬を決められたとおりに飲み、食欲に合わせた食事と水分摂取を行い、安静にすることが病気から回復する近道です。

予防には、
うがい・手洗い
が1番！



当院での予防策！

当院では、来院者へのマスク着用とボランティアさんへは、インフルエンザの予防接種をお願いしています。また、来院された方全員に検温を実施しています。玄関に体温計を設置しお子さんは37.5度以上、大人は37.0度以上の方もしくは嘔吐・下痢症状のある方の入室を禁止しています。

病院受診などの外出から帰院した際は、お洋服をお着替え。お熱等で入浴出来ない場合は、ホットタオルで清拭をしています！

善意寄付

(平成 28年12月～平成 29年1月)

12月 高橋 邦明様
亀井様
美容室小町様
阿部様
曹洞宗第一教区寺族会様
宇佐見経営様
創研コンサルタント様
協働大町ビル様
ジェイストーム様

1月 村上様
桜庭様
エムズ自研様・たまき様

その他
毎月 匿名希望の方

ありがとうございます。



編集後記 ～スタッフから一言～

昨年に引き続き、秋田市内は雪が少なく、朝の除雪作業がなく楽をさせてもらっています。

今冬は、娘がインフルエンザに罹りましたが、いろいろ工夫をしたこともあり、家族内パンデミックとなることはありませんでした。

それはさておき、当院では今回特集した、室内遊びの工夫や感染症対策の工夫など、保育士・看護師などの専門職員が中心となって日々の業務について、よりよい養育となるよう改善を繰り返しています。

私も先月末で 35 歳となり、アラフォーの仲間入りをしましたので、人生を日々改善していきたいと思います。(菊地)

■編集・発行 秋田赤十字乳児院
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3
TEL 018-884-1760 FAX 018-884-1762
電話相談 018-884-1761 (8:30～23:00)